

くらしやすい、ずっと住みたい尼崎へ

# 市民のねがいにこたえ 未来に希望ある尼崎に

自由に使える市のためこみ金（財政調整基金）は70億円  
ほんの一部を使えば、市民の願いが実現できます



きさくでまじめ  
頼りがいのある

日本共産党  
徳田みのもる

## 子育てしやすい街に

### ①安心安全な中学校給食を早期に実施

「一日も早く中学校給食をはじめてほしい」  
「宝塚のように自校方式でおいしい給食ができたら最高」——父母の願いにこたえ早期実施を



- ②35人以下学級を中学3年生まで拡充
- ③こどもの医療費は高校卒業まで無料に
- ④日本一高い保育料の引き下げを
- ⑤準要保護世帯への就学援助金の増額と、入学準備金の入学前支給に

## 地域活性化と利便性の確保を

- ①県立総合医療センターへの直通バスなど、市民の足として便利なバス路線に
- ②乳幼児健診や保健相談は、引き続き6カ所で実施を
- ③市民にとって必要な公共施設の存続
- ④住宅・店舗・空き家リフォーム助成を創設  
公共施設の建て替えは市内事業者を優先



## 若者支援

- ①子ども食堂への支援拡充
- ②若者向けへの家賃助成制度や利便性のよい家賃の安い住宅の提供
- ④過労死根絶へ、ブラック企業・ブラックバイト規制を国に求める
- ⑤給付制奨学金の拡充を求める



## お年寄りに優しい街に

- ①介護保険料・利用料の負担軽減。「介護しめだし」を許さない
- ②国民健康保険料の1世帯1万円引き下げ



## 安心・安全・防災対策

- ①住宅耐震化への補助
- ②南海トラフ巨大地震・津波、洪水対策の強化、避難所・福祉避難所と避難体制の充実
- ③アスベスト検診の充実
- ④原発ゼロへ。再生可能エネルギーの活用を進め、原発再稼働に反対



# 「日本共産党ならでは」

市民と  
いっしょに

市政をチェック  
前向き提案

市政でも  
こんな働き

清潔、公開へ  
議会改革推進

- 県立総合医療センターの実現
- 県立総合医療センターバス停の歩道拡幅
- 県立尼崎・塚口病院跡への医療機関誘致
- 中学校給食実現へ大きく前進。市民をふくめた中学校給食検討委員会の設置
- 法人保育施設等児童検診助成審議の継続
- JR塚口駅、阪急園田駅のエレベーター設置
- 介護保険の認定申請で、機械的な振り分けでなく実情に合わせた認定を守らせる

- 津波避難所の避難人員を増やす（競艇場）
- 緊急通報システムを障がい者にも適応
- 市民共同発電所への支援
- 武庫川河川敷の災害復旧と整備
- 福祉避難所の増設
- 「見えない貧困」実態調査の実施
- 19人以下の保育施設も全員が保育士資格者に

- 政務活動費の使途の透明化。領収書の公開
- 議員個人の資産を公開
- 海外視察を24年間凍結
- 視察先での公費飲酒の自粛

新政会・公明党

海外視察復活もとめる





付度と隠ぺいはゴメン  
自公維を  
少数に!

尼崎で

# 日本共産党を伸ばして 市民と野党の共闘を前へ

森友疑惑の徹底説明  
共謀罪・辺野古新基地NO!  
年金カットに続く  
介護の負担増は許せない!

介護の負担増は許せない!



衆議院議員  
堀内照文

森友疑惑に、南スーダン日報隠し、  
まともな答弁をしないままとんでもない  
監視社会をつくる共謀罪、原発避難  
者に「自己責任」との言葉をなげつけ  
たり、学芸員を「がん」と誹謗する大  
臣…。そして国際法上の根拠もはつき  
りしないままシリアへの米国単独攻撃  
を「支持」し、米国が北朝鮮へ軍事力  
行使を選択肢とすることを容認する  
安倍総理。

いま、安倍政権は、付度と隠ぺい、  
モラルハザードのみなら  
ず、日本と世界の安全、  
平和にとっても極めて危  
険だといわなければなら  
ません。

その安倍政権が、昨年  
の年金カットに続き、介  
護の負担増をも衆院委で  
強行採決、沖縄辺野古の  
新基地建設も強行しよう  
としています。

日本共産党は森友疑惑  
で内部文書を暴露し、土  
地購入や私学認可にかか

わる安倍総理官邸や維新・大阪  
府政の責任を追及するなど、全  
力を尽くしてきました。  
きたるべき総選挙で、安倍政権を倒  
し新しい日本をつくるために、市民と  
野党の共闘で、自民党、公明党、維新  
の会を少数に追い込むために全力でた  
たかいます。  
尼崎で日本共産党が伸びれば、野党  
共闘を前にすすめる力になります。「野  
党共闘」の願いを託して下さい。

## 尼崎市 暴走政治支える 自・公・維新にノー

尼崎市政でも、国方針に追随。福祉切り捨て・  
公共施設切り捨てが始まっています。

本来、市民の生活を守るべき市議会でも、  
新政会（自民系会派）、公明党は、こうした市政  
を推進する立場からほとんどの議案に賛成。  
維新（維新の会）は、「身を切る改革」を標榜し、  
人件費関連議案には反対するものの市民生活  
に直結する議案には、賛成する立場です。

日本共産党議員団は、自民党政治の悪政の  
防波堤として自治体本来の役割を発揮すること  
を目ざして、市民の皆さんとの共闘の運動  
をすすめます。

## 安倍政権の悪政と対決

# くらしを守る日本共産党

第21回市議会定例会 議案(内容)に対する態度 ○賛成 ×反対	第21回市議会定例会 議案(内容)に対する態度 ○賛成 ×反対			
	日本共産党 (新政会)	自民党	公明党	維新の会
高すぎる国保料・最高限度額4万円引上げ	×	○	○	○
保健センター2カ所化で乳児検診が遠くなる	×	○	○	○
自転車をまちの魅力にする推進条例	○	○	○	○
福祉事務所の職員などを増やす定数条例	○	○	○	○
職員人件費配偶者の扶養手当の廃止	×	○	○	×



市会議員

まさき一子



市会議員

徳田みのる



市会議員

川崎としみ



市会議員

松沢ちづる



党地区社会保障・中小  
企業対策責任者

さとう貴志



党地区福祉・教育・子  
育て支援責任者

こむら 潤



党地区若者・雇用支援  
責任者

広瀬わかな